

平成30年度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

目 次

第 1	組合会計の状況	1
1	決算の概要	1
(1)	決算収支	1
(2)	決算額の推移	2
(3)	歳入の状況	3
ア	歳入科目別内訳	3
イ	負担金及び県支出金の内訳	4
ウ	諸収入の内訳	5
(4)	歳出科目別内訳	6
(5)	年度別の主な請負工事と購入備品	7
(6)	組合費及び繰越金の推移	8
(7)	基金積立金の状況	9
(8)	地方債現在高の状況	9
(9)	決算の特徴	10
第 2	業務の概要と成果	12
1	児童・利用者の概況（平成 31 年 3 月 31 日現在）	12
2	職員の状況	14
3	施設運営・支援の概要	15
4	今後の課題	16

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 363,222千円(平成29年度 325,817千円)

歳出 317,422千円(平成29年度 286,632千円)

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 37,405千円増(11.5%増)

歳出 30,790千円増(10.7%増)

形式収支

平成30年度の形式収支(歳入歳出差引額)は、45,800千円となりました。
(平成29年度 39,185千円)

実質収支

平成30年度の実質収支(形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額)は、45,800千円となりました。
(平成29年度 39,185千円)

単年度収支

実質収支45,800千円から、前年度実質収支39,185千円を差し引いた単年度収支額は、6,615千円となりました。
(平成29年度 12,447千円)

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金1,839千円を加えた実質単年度収支額は、8,454千円となりました。
(平成29年度 12,467千円)

(2) 決算額の推移

(単位：千円)

年度	歳入		歳出	
	決算額	前年度比較	決算額	前年度比較
平成23年度	366,776	5,055	345,812	▲ 10,226
平成24年度	411,560	44,784	388,296	42,484
平成25年度	353,174	▲ 58,386	310,276	▲ 78,020
平成26年度	738,091	384,917	676,525	366,249
平成27年度	789,288	51,197	787,880	111,355
平成28年度	305,051	▲ 484,237	278,313	▲ 509,567
平成29年度	325,817	20,766	286,632	8,319
平成30年度	363,222	37,405	317,422	30,790

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区	分	平成30年度	平成29年度	増 減		
分担金及び		280,150	256,158	23,992		
負担金	市町 分担金	経常費分担金	61,111	57,076	4,035	
		施設整備費 分 担 金	23,644	2,888	20,756	
	負担金	児童福祉費		195,395	196,194	▲ 799
				22,848	21,190	1,658
			市町障害児施設 入 所 給 付 費	0	0	0
			市町居宅生活 給 付 費	19,057	17,436	1,621
			障害児施設利 用 者 負 担 金	1,343	1,217	126
		居宅生活支援 利 用 者 負 担 金	2,448	2,537	▲ 89	
		社会福祉費		172,547	175,004	▲ 2,457
			市町施設入所支 援 介 護 給 付 費	153,709	158,520	▲ 4,811
			市町居宅生活 支 援 費	2,358	39	2,319
			施設支援介護利 用 者 負 担 金	16,302	16,439	▲ 137
	居宅生活支援費 利 用 者 負 担 金		178	6	172	
	県支出金		43,042	40,949	2,093	
		県委託金	児童福祉費 児 委 託 金	16,672	19,457	▲ 2,785
	施設給付金	障 害 児 施 設 給 付 金	26,370	21,492	4,878	
財 産 収 入	基金及び積立金	40	34	6		
寄 附 金	寄 附 金	125	1,050	▲ 925		
繰 入 金	基金繰入金	0	0	0		
繰 越 金	前年度繰越金	39,185	26,738	12,447		
諸 収 入		680	888	▲ 208		
	雑 入	680	888	▲ 208		
組 合 債	組 合 債	0	0	0		
歳 入 合 計		363,222	325,817	37,405		

イ 負担金及び県支出金の内訳

(単位:千円)

区 分		比 較			魚 沼 学 園			魚 沼 更 生 園			合 計		
		平成30年度	平成29年度	増 減	平成30年度	平成29年度	増 減	平成30年度	平成29年度	増 減			
負 担 金	学 園	市町障害児施設入所給付費		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		市町居宅生活給付費	19,057	17,436	1,621	0	0	0	19,057	17,436	1,621		
		障害児童施設利用者負担金	1,343	1,217	126	0	0	0	1,343	1,217	126		
		居宅生活支援利用者負担金	2,448	2,537	▲ 89	0	0	0	2,448	2,537	▲ 89		
		小 計	22,848	21,190	1,658	0	0	0	22,848	21,190	1,658		
	更 生 園	市町施設入所支援介護給付費	0	0	0	153,709	158,520	▲ 4,811	153,709	158,520	▲ 4,811		
		市町居宅生活支援費	0	0	0	2,358	39	2,319	2,358	39	2,319		
		施設支援介護利用者負担金	0	0	0	16,302	16,439	▲ 137	16,302	16,439	▲ 137		
		居宅生活支援費利用者負担金	0	0	0	178	6	172	178	6	172		
		小 計	0	0	0	172,547	175,004	▲ 2,457	172,547	175,004	▲ 2,457		
計		22,848	21,190	1,658	172,547	175,004	▲ 2,457	195,395	196,194	▲ 799			
県 支 出 金	委 託 金	管理委託基準による事務費	12,603	13,841	▲ 1,238	0	0	0	12,603	13,841	▲ 1,238		
		重度指定加算	25%	0	0	0	0	0	0	0	0		
			30%	0	0	0	0	0	0	0	0		
			計	0	0	0	0	0	0	0	0		
		重度重複障害児加算費		0	0	0	0	0	0	0	0		
		被虐待児受入加算費		417	▲ 417	0	0	0	0	417	▲ 417		
		生活諸費	2,986	3,657	▲ 671	0	0	0	2,986	3,657	▲ 671		
		教育費	232	305	▲ 73	0	0	0	232	305	▲ 73		
		高等部進学費	61	106	▲ 45	0	0	0	61	106	▲ 45		
		見学旅行費	54	172	▲ 118	0	0	0	54	172	▲ 118		
		入進学支度金	41	47	▲ 6	0	0	0	41	47	▲ 6		
		学校給食費	294	340	▲ 46	0	0	0	294	340	▲ 46		
		期末一時扶助費	27	37	▲ 10	0	0	0	27	37	▲ 10		
		採暖費	219	286	▲ 67	0	0	0	219	286	▲ 67		
就職支度金	0	163	▲ 163	0	0	0	0	163	▲ 163				
緊急一時保護委託料	155	86	69	0	0	0	155	86	69				
計		16,672	19,457	▲ 2,785	0	0	0	16,672	19,457	▲ 2,785			
施設給付金		26,370	21,492	4,878	0	0	0	26,370	21,492	4,878			
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0			
計		43,042	40,949	2,093	0	0	0	43,042	40,949	2,093			
合 計		65,890	62,139	3,751	172,547	175,004	▲ 2,457	238,437	237,143	1,294			

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区	分	平成30年度	平成29年度	増 減
雑 入	園芸班売上収入	23	18	5
	家庭科班売上収入	94	165	▲ 71
	実習生受入謝礼	180	191	▲ 11
	外来者等給食提供 徴収実費	11	10	1
	非常勤職員 雇用保険料	114	126	▲ 12
	共済保険料還付金	63	51	12
	保険等事務手数料	60	87	▲ 27
	私用複写機使用料	3	4	▲ 1
	公衆電話 委託手数料	1	1	0
	自動販売機 設置負担金	23	28	▲ 5
	ふれあい祭模擬店 売上金	48	47	1
	障害者芸術祭 除幕式参加旅費	10	0	10
	不用鉄屑等 売却収入	40	0	40
	スチール廃材 処分収入	10	0	10
	公有自動車共済費	0	44	▲ 44
建物災害共済金	0	117	▲ 117	
合 計		680	889	▲ 209

(4) 歳出科目別内訳

(単位：千円)

区	分	平成30年度	平成29年度	増減
議会費		29	35	▲ 6
総務費		31,278	19,082	12,196
	総務管理費	31,241	19,039	12,202
	1一般管理費	7,547	7,006	541
	2財産管理費	21,838	11,997	9,841
	3基金費	1,856	36	1,820
	財政調整基金	1,839	20	1,819
	施設整備基金	17	16	1
	監査委員費	37	43	▲ 6
	監査委員費	37	43	▲ 6
民生費		262,470	264,527	▲ 2,057
	児童福祉費	83,430	94,262	▲ 10,832
	1児童福祉総務費	70,804	81,256	▲ 10,452
	2教育訓練費	370	732	▲ 362
	3飲食物費	6,261	6,786	▲ 525
	4日常諸費	5,995	5,488	507
	社会福祉費	179,040	170,265	8,775
	1社会福祉総務費	157,686	149,140	8,546
	2作業等訓練費	556	611	▲ 55
	3飲食物費	9,621	9,946	▲ 325
	4日常諸費	11,177	10,568	609
公債費		23,645	2,988	20,657
	償還利子	2,863	2,888	▲ 25
	償還元金	20,782	100	20,682
歳出合計		317,422	286,632	30,790

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
平成27年度	299,580	魚沼学園建替建築工事
	42,761	魚沼学園建替電気設備工事
	93,559	魚沼学園建替機械設備工事
	580	魚沼学園居室用ベット20台
	256	魚沼学園食堂用テーブル6台
	106	魚沼学園正面及び児童玄関踏み板7点
	181	魚沼学園建替に伴うプール給水管接続工事
	603	魚沼学園建替に伴う渡り廊下風除板取付工事
	788	魚沼学園建替に伴う案内看板取付工事
	116	魚沼学園建替に伴う体育館接続用防雨工事
	2,203	合併浄化槽廃止工事
計	440,733	
平成28年度	909	魚沼更生園園芸作業用畑客土工事
	648	魚沼更生園構内一部芝張工事
	659	魚沼更生園女子静養室設置工事
	324	魚沼更生園女子静養室電気設備工事
	162	魚沼更生園自動ドア鍵取替工事
	12	魚沼更生園インターホン増設工事
	29	魚沼更生園非常放送用スピーカー取付工事
	324	魚沼更生園汚水枘スクリーン取付工事
	60	魚沼学園プール排水管バルブ取付工事
	116	厨房用冷蔵庫 他魚沼学園入替等備品
	108	魚沼更生園液晶テレビ
	177	ソファベッド 他魚沼更生入替等備品
	計	3,528
平成29年度	270	厨房用シンク設置工事
	3,726	魚沼更生園男子棟浴室工事
	55	厨房用食品棚取付工事他
	257	魚沼更生園寮舎エアコン取付工事
	246	厨房用冷凍庫購入
	1,501	利用者外出用車両購入
	62	魚沼学園2階洗面所収納棚上部工事
	210	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
	811	ソファベッド 他魚沼更生園入替等備品
計	7,138	
平成30年度	9,671	魚沼更生園非常発電機設置及び消火栓ポンプ取替工事
	3,996	魚沼更生園女子棟浴室工事
	1,608	魚沼更生園井戸掘削工事
	572	魚沼更生園駐車場水路補修工事
	335	魚沼更生園居室エアコン取替工事
	81	魚沼学園洗濯室流し台取付工事
	50	魚沼学園居室常夜灯取付工事
	1,020	パソコン入替購入費(9台)
	259	液晶テレビ 他魚沼学園入替等備品
	267	炊飯ジャー 他魚沼更生園入替等備品
計	17,859	

(6) 組合費及び繰越金の推移

(単位：千円)

年 度	経常費分担金	建設費分担金	分 担 金 計 A	歳 出 総 額 B	歳出総額に占める 分担金の割合 A/B	前年度繰越金
H18	注 1 74,247	0	74,247	374,769	19.81%	14,877
H19	注 2 81,730	0	81,730	374,250	21.84%	13,220
H20	注 3 72,178	0	72,178	377,588	19.12%	25,395
H21	注 4 71,680	0	71,680	367,642	19.50%	14,728
H22	注 5 54,015	0	54,015	356,038	15.17%	7,350
H23	注 6 60,045	0	60,045	345,812	17.36%	5,683
H24	注 7 68,738	0	68,738	388,296	17.70%	20,964
H25	注 8 62,660	0	62,660	310,276	20.19%	23,264
H26	注 9 60,853	注10 67,000	127,853	676,525	18.90%	42,898
H27	注11 58,000	注12 9,145	67,145	787,880	8.52%	61,566
H28	注13 55,000	注14 2,853	57,853	278,313	20.79%	1,408
H29	注15 57,076	注16 2,888	59,964	286,632	20.92%	26,738
H30	注17 61,111	注18 23,644	84,755	317,422	26.70%	39,185

- 注 1 新潟市・長岡市・燕市・日高市（組合構成団体外）より管外児童分2,247千円を含む。
- 注 2 新潟市・長岡市・燕市・日高市（組合構成団体外）より管外児童分2,730千円を含む。
- 注 3 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分2,178千円を含む。
- 注 4 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分1,680千円を含む。
- 注 5 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分2,015千円を含む。
- 注 6 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,045千円を含む。
- 注 7 新潟市・長岡市・燕市（組合構成団体外）より管外児童分3,738千円を含む。
- 注 8 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,660千円を含む。
- 注 9 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,853千円を含む。
- 注 10 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 11 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,054千円を含む。
- 注 12 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 13 新潟市・長岡市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分3,114千円を含む。
- 注 14 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 15 新潟市・三条市（組合構成団体外）より管外児童分2,076千円を含む。
- 注 16 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。
- 注 17 新潟市（組合構成団体外）より管外児童分1,111千円を含む。
- 注 18 魚沼学園建替事業の当年度事業費に充当する一般財源に係るもの。

(7) 基金積立金の状況

(単位：千円)

項 目 別	平成29年度末残高	平成30年度中増減		平成30年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額		
施 設 整 備 基 金	64,033	17	0	64,050	
財 政 調 整 基 金	107,446	1,839	0	109,285	
計	171,479	1,856	0	173,335	

- 6 -

(8) 地方債現在高の状況

(単位：千円)

発行 年度	区 分	平成29年度末 現在高	平 成 30 年 度					借入先	借入利率	その他借入条件
			発 行 額	償 還 金			年度末 現在高			
				元 金	利 子	計				
26	社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業	126,000	0	7,005	870	7,875	118,995	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施 設 整 備 事 業 (一般財源化分)	171,300	0	10,084	844	10,928	161,216	新 潟 県 市 町 村 振 興 協 会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業	130,100	0	3,610	910	4,520	126,490	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	施 設 整 備 事 業 (一般財源化分)	162,700	0	0	163	163	162,700	新 潟 県 市 町 村 振 興 協 会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社 会 福 祉 施 設 整 備 事 業	3,000	0	83	21	104	2,917	地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施 設 整 備 事 業 (一般財源化分)	55,000	0	0	55	55	55,000	新 潟 県 市 町 村 振 興 協 会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
計		648,100	0	20,782	2,863	23,645	627,318			

(9) 決算の特徴

歳入について

歳入総額は 363,222 千円となり、前年度決算額（325,817 千円）対比 37,405 千円（11.5%）の増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 1 款「分担金及び負担金」関係

1 項 1 目の市町分担金については、経常費分は全体で対前年度比 4,035 千円の増額となりました。

また、魚沼学園建替工事に伴う施設整備事業費分担金については、起債の元金償還の開始により対前年度比で 20,756 千円の増額となりました。

2 項 1 目の児童福祉費負担金は、魚沼学園の夏休み期間の日中一時支援事業及び短期入所利用者の増により、居宅生活利用者に係る給付費及び負担金が増額となり、全体で対前年度比 1,658 千円の増額となりました。

2 項 2 目の社会福祉費負担金は、職員の療養休暇、及び非常勤職員の確保難により職員配置加算が減額になったため施設入所支援介護給付費が 4,811 千円の減額となりました。在宅の生活介護、短期入所利用に係る給付費、負担金は 2,491 千円の増額、社会福祉費負担金全体では対前年度比 2,457 千円の減額となりました。

② 2 款「県支出金」関係

県支出金は、児童の入退所の変動により入所児童数が増えたことにより対前年度比 2,093 千円の増額になりました。

③ 5 款「繰入金」関係

当初、一般財源不足に充当するため、財政調整基金から 23,000 千円、老朽化した魚沼更生園の男子浴室改修工事の財源として施設整備基金 7,000 千円の繰入（取り崩し）を見込んでおりましたが、繰越金の増額及び経費縮減に努め繰入を行いませんでした。

④ 6 款「繰越金」関係

前年度決算において、当年度当初の繰替運用に充てるため基金への積立を行わなかったため 12,447 千円の増額になりました。

⑤ 7 款「諸収入」関係

雑入については、魚沼更生園の作業収入の減額等により 208 千円の減額になり

ました。

歳出について

歳出総額は、317,422千円となり、前年度決算額（286,632千円）対比30,790千円（10.7%）増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2款「総務費」関係

1項1目の一般管理費において、障害児支援システム法改正対応の保守委託料及び、職員の資質向上を目的とした研修費の増額等により対前年度比541千円の増額になりました。

1項2目の財産管理費において、工事請負費で、魚沼更生園非常用発電機設置消火栓ポンプ取替工事9,671千円、老朽化が著しい魚沼更生園の女子浴室等修繕工事費3,996千円、魚沼更生園井戸掘削工事費1,608千円を含む16,313千円を執行しました。

また、パソコンの入替購入費として1,020千円を執行しました。

1項3目の基金費では、利子分の積立に加え1,839千円を財政調整基金に積増し、その他事務的経費の支出抑制に努めた結果2款全体では、予算現額に対して6,549千円が不用額となりました。

② 3款「民生費」関係

人件費について、1項児童福祉費及び2項社会福祉費のそれぞれの正職員人件費、非常勤職員経費を合わせた職員人件費については、対前年度比851千円の減額になりました。

1項の児童福祉費における魚沼学園利用児童に対する扶助費の教育訓練費、飲食物費及び日常諸費では12,626千円、2項社会福祉費における魚沼更生園利用者に対する扶助費の指導訓練費、飲食物費、日常諸費で21,354千円を執行し、利用児童、利用者の実績に応じた内容になっております。

なお、利用児童、利用者に必要なテレビ、洗濯機、炊飯ジャー等の備品入替、購入経費とし526千円を執行しました。

③ 4款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成26年度及び平成27年度に発行された組合債の元金及び利子償還分23,645千円を執行しました。

第2 業務の概要と成果

1 児童・利用者の概況（平成31年3月31日現在）

(1) 在籍児・者の状況

魚沼学園【定員20人／在籍16人】

ア 年齢別児童数

		(人)																	
年齢		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	計
性別																			
男		2				1	1		1	4	1	3							13
女								1	1				1						3
計		2				1	1	1	2	4	1	3	1						16

イ 学年別児童数

		(人)													
学年		小学部					中学部			高等部			未就学	計	
性別		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3		
男		2			1	1		1	4	1	3				13
女							1	1				1			3
計		2			1	1	1	2	4	1	3	1			16

ウ 障害程度（IQ指数）別児童数

		(人)						
区分		軽度		中度		重度		計
性別		61以上	60～51	50～41	40～36	35以下	IQ測定不能	
男		3	1	5			4	13
女			1	1		1		3
計		3	2	6		1	4	16

(DQ検査結果の者はIQ測定不能に分類)

エ 入所理由別利用者数

		(人)												
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
区分														
契約		9	9	9	10	11	11	11	11	11	11	11	11	125
措置		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計		14	14	14	15	16	16	16	16	16	16	16	16	185

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん ・情緒不安定 ・ダウン症 ・自閉傾向 ・統合失調症
- ・広汎性発達障害 ・肢体不自由

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

		(人)																										
		年齢																										
性別	年齢	23	24	26	32	33	34	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	63	64	計
	男		1		1	1	1	1		2	3		4	1	2			2	1			1		1			1	
女		1				1		2	1	2	2	1		1				1	2	1	1		1					17
計		2		1	1	2	1	2	3	5	2	5	1	3			2	2	2	1	2		2			1		40

イ 障害支援区分認定別利用者数

		(人)						
		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男				1	4	6	12	23
女				1	7	6	3	17
計				2	11	12	15	40

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん ・ダウン症 ・自閉傾向 ・情緒不安
- ・身体障害 ・難聴 ・統合失調症 ・双極性感情障害
- ・橋本病 ・痛風 ・脂質異常症 ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

		(人)									
区分	市町	長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合計
		旧山古志村	旧川口町								
魚沼学園	男		1		2	6	1		2	1	13
	女				2		1				3
	計		1		4	6	2		2	1	16
魚沼更生園	男		2	5	1	6			9		23
	女	1		6		4	1		5		17
	計	1	2	11	1	10	1		14		40
合計		1	3	11	5	16	3		16	1	56

(3) 入退所の状況

魚沼学園

(人)

	発成年月	男女別	人数	発生時年齢	出身市町	備考
入所状況	平成30年4月	男	1	9	長岡市	
	平成30年4月	男	1	14	十日町市	
	平成30年7月	男	1	6	南魚沼市	
	平成30年8月	女	1	13	十日町市	
退所状況						退所者なし
一時保護	平成30年8月21日	男	1	10	十日町市	
	平成30年8月21日	男	1	9	十日町市	

魚沼更生園

(人)

	発成年月日	男女別	人数	発生時年齢	出身市町	備考
入所状況						入所者なし
退所状況						退所者なし

(4) 月別利用者数

(人)

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延計
魚沼学園 定員20人	14	14	14	15	16	16	16	16	16	16	16	16	185
魚沼更生園 定員40人	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
計	54	54	54	55	56	56	56	56	56	56	56	56	665

2 職員の状況 (平成31年3月31日現在)

(人)

施設	配置	正職員													非常勤等職員	合計		
		園長	庶務課					指導・支援課									計	
			庶務課長	庶務主任	事務員	栄養士	調理員	用務員	指導・支援課長	課長補佐	指導・支援係長	児童指導員	保育士	作業指導員				生活支援員
魚沼学園	[1]		1					1		1	4	1			1	9	3	12
魚沼更生園	1	1					1	1		2				10	1	17	22	39
計	1	1	1				1	2		3	4	1		10	2	26	25	51

* 『[]』は兼任を表し、合計値には反映しない。

* 正職員数には休職職員を含み、非常勤等職員数には一時的雇用及び短期労働を含まない。

3 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 20 人に対して 14 人でスタートしました。年度途中の 7 月と 8 月にそれぞれ 1 人ずつの入所があり、16 人となりました。年度末には 1 名が小出特別支援学校を卒業しましたが、進路が決まらなかったため、特例での継続入所となり、年度末の在籍は 16 名のままとなりました。内訳は、措置児童 5 名、契約児童 11 名です。

また、在宅の方の支援として短期入所事業と日中一時支援事業を行いました。短期入所事業は入所定員に満たない空床枠の中で年間を通じてサービス提供を行いました。また、日中一時支援事業では日曜日と年末年始を除いて成人と児童の受け入れを行っており、両事業とも利用者は増加傾向にあります。

②魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員 40 人に対し、満床の 40 人でのスタートとなりました。年度途中での入退所もなく、年度末の利用者 40 人、待機者 3 人となっています。

(2) 利用児者の支援について

魚沼学園及び魚沼更生園の利用児者に対する支援サービスについては、児童発達管理責任者およびサービス管理責任者を中心として、利用児童の意向、適性、障害の特性、その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、それぞれ年間行事計画に沿って利用児者が楽しめる活動を実施しました。

なお、サービス提供中に何らかの状況の変化等が見られる場合も想定されることから、半年を目途にモニタリングを実施し、支援内容等の見直しを行いました。

こうした取組を通じて、安心して生活できる環境づくりを進めるとともに、利用児者の現況に即した支援サービスの提供に努めました。

(3) 関係機関や地域との連携

施設運営にあたっては、県の関係機関（障害福祉課、児童相談所等）から指導や情報提供を受けるとともに、構成市町の福祉関係課、相談支援センターの他、知的障害者福祉協会などの関係団体や県内の同種施設等からの情報収集を行いながら連携の強化を図り、サービスの質の向上や利用児者の満足度の向上に努めました。

また、魚沼学園・更生園保護者会からは、より良い施設運営に向けたご意見をいただいたほか、利用児者を対象とした行事の共同開催や機関誌の発行など、様々な活動

を行っていただきました。

魚沼学園では、入所児童が通う小出特別支援学校との情報交換を頻繁に行い、より良い支援が行われるよう努めました。また、高等部卒業後の進路については、関係機関等と連携するとともに、必要に応じて関係者会議等で検討を行いました。1人の進路を決めることができませんでした。

短期入所及び日中一時支援事業は、近年利用希望者が増加傾向にあり、ニーズに合わせたサービス提供ができるように相談支援センターを中心に情報共有や関係者会議を開催しました。

地域との連携については、様々な場面で各種団体からのボランティアや奉仕活動などを行っていただいたほか、地元十日町区から選出していただいた方々を施設強化委員（非常駆付員）に委嘱し総合避難訓練に参加いただくなど安心安全な施設運営にご協力をいただきました。

また、地域のイベント等に利用児童が参加する機会や、催し物の際に利用者の作品を展示即売する場を提供していただき、その中で地域の人たちとの交流を深めながら障害児者への理解を求める活動にも取り組みました。

4 今後の課題

(1) 中期運営計画について

平成30年度から令和4年度を期間とする中期運営計画がスタートしました。本計画は組合運営の基本的な計画となりますが、国の福祉施策の動向や社会環境の変化に柔軟に対応していくために、必要に応じて検証と見直しを行いながら実効性のある計画とし、計画的な施設運営と体制の強化を推進します。

(2) 安定した施設運営とサービスの質の向上について

当組合では、退職職員の補充を非常勤職員等で対応していた時期が続きましたが、その結果、職員間の待遇格差による士気の低下、年齢の偏り等による組織の弱体化、短期間での職員の入れ替わりによるサービスの質の低下等が懸念される事態となりました。現在でも職員の4割を非常勤職員が占めており、人材確保が非常に厳しい状況の中で安定した施設運営とサービスの質の確保・向上のために計画的な職員採用とキャリアに応じた研修の機会の確保が重要となっています。

(3) 施設の老朽化対策

魚沼更生園は建築から35年が経過し、水回りを中心に老朽化が進んでいることから、毎年計画的に浴室やトイレの改修を行っています。また、基本的に4人部屋といった設計思想の古さに加え、エレベーター等のバリアフリー対策、安全対策等も検討

していかなければなりません。鉄筋コンクリート構造物の耐用年数を15年後に控え、地域包括ケアをはじめとする制度の動向等も勘案しながら、施設運営の方向性を検討する必要があります。

さらに、主に魚沼学園で使用しているプールや体育館も建築から45年以上が経過しており大規模改修等の検討が必要な時期に来ています。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

魚沼学園、魚沼更生園とも、公立の一部事務組合施設であるため、給付費の算定において一般の社会福祉法人より減算されており、収支の不足については組合構成市町からの分担金で補わざるを得ません。また、令和17年までは魚沼学園建替事業に係る起債の償還が加わります。

このため、サービスの質の確保と効率的な施設運営といった全体のバランスに配慮しながら、過度な財政負担を避けていく必要があります。